

- 問1 室町時代に禅宗寺院の様式を武家の住居に取り入れたことで成立し、床の間や障子、部屋全体に敷きつめられた畳などが特徴である建築様式を何といいますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 寝殿造                      2. 書院造                      3. 校倉造                      4. 合掌造
- 問2 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものと正しいものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。                      2. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために將軍直属の密偵としての役割を担った。                      3. 將軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。                      4. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
- 問3 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 世阿弥                      2. 近松門左衛門                      3. 雪舟                      4. 観阿弥
- 問4 応仁の乱によって戦地となった京都の様子や、当時の社会への影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 戦乱の影響で京都の公家や僧侶が各地へ避難したが、これによって京都の高度な文化が地方へ伝わるきっかけとなった。                      2. 戦いを避けるために人々は京都から離れ、東大寺や興福寺がある奈良が一時的に政治の中心地として栄えた。                      3. 戦火によって都の大部分が焼失し、現在も続く祇園祭などの祭礼が数十年にわたり中断される事態となった。                      4. 京都の町衆によって大規模な自衛組織が作られたことで、都の全域が戦火から守られ、文化財の被害は免れた。
- 問5 足利義満が明との貿易において、「勘合（勘合符）」と呼ばれる証明書を使用することになった主な目的は何ですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 明から輸入する銅銭や生糸の価格を、あらかじめ一定に固定しておくため                      2. 幕府が認めた正式な貿易船と、当時海上で活動していた海賊（倭寇）を区別するため                      3. 明の皇帝に対して、日本が対等な立場であることを証明する外交文書とするため                      4. 日本国内の有力な大名や寺社が、独自に明と交易を行うことを許可するため
- 問6 1467年に発生し、京都を主な舞台として約11年間続いた「応仁の乱」の背景と、その後の社会に与えた影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 平氏を滅ぼした功績を巡る対立から始まり、東国を拠点とする武士団が初めて中央政権を握る要因となった。                      2. 將軍の跡継ぎ問題や守護大名の勢力争いが原因で始まり、幕府の権威が衰退して戦国時代へ移行するきっかけとなった。                      3. 執権の座を巡る北条氏一族の内部抗争から始まり、御家人が借金に苦しむ徳政令が出される背景となった。                      4. 鎌倉幕府を倒した後の政治方針を巡る対立から始まり、天皇を中心とする建武の新政が崩壊する原因となった。
- 問7 室町幕府の組織構成について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、幕府は京都に本拠を置きながら、東国の武士を直接統制するための独自の機関を設置していました。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 朝廷の監視と西国の統治を目的として、六波羅探題を設置し、北条氏の一族を配属した。                      2. 地方の民政と裁判を担わせるため、各国に国司を配置し、土地の管理を行わせた。                      3. 東国の支配を安定させるため、鎌倉に鎌倉府を設置し、將軍の親族を長官として派遣した。                      4. 將軍の直属軍として、有力な御家人による北面武士を組織し、軍事力を強化した。
- 問8 室町時代に惣村が発達し、農民たちが強い団結力を持つようになった背景として、当時の村の運営実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 武士が土地を直接支配する地頭請が普及したため、農民は武士の指示に従ってのみ村を運営した。                      2. 江戸幕府の五人組制度によって、農民が相互に監視し合いながら年貢を納める仕組みが作られた。                      3. 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。                      4. 商業の独占権を持つ「座」が村を統治し、農民は商人たちの許可を得て農業を行った。
- 問9 室町幕府の三代將軍である足利義満は、明（中国）との間で正式な国交を結び、貿易を開始しました。この貿易では、文字が記された札を二つに分けた「勘合（かんごう）」と呼ばれる道具が用いられましたが、このような仕組みが導入された背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 日本から輸出される銀や銅の総量を、幕府が正確に管理して独占する必要があったため。                      2. 朱印状を持った日本船が東南アジアへ進出することを、明の皇帝が公式に認めたため                      3. ポルトガルやスペインの商人が持ち込むキリスト教の布教を、厳しく制限する必要があったため。                      4. 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。
- 問10 世界遺産に登録されている「慈照寺の銀閣」があり、かつて室町幕府の8代將軍足利義政によって東山文化が育まれた都道府県はどこか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 奈良県                      2. 京都府                      3. 滋賀県                      4. 兵庫県
- 問11 室町幕府の3代將軍である足利義満が行った政策のうち、当時の国際情勢や幕府の経済基盤の確立に関連する出来事として最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. ポルトガル船の来航を許可し、キリスト教の布教を認めることで鉄砲を導入した                      2. 明の皇帝から日本国王の称号を得て、勘合を用いて倭寇と区別した貿易を開始した                      3. 朝鮮半島に出兵して勢力を拡大しようとしたが、現地軍や明の援軍に阻まれ撤退した                      4. 博多や堺の商人を通じて宋から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を促進させた
- 問12 室町時代の中世社会についてまとめられた学習年表において、村の自治が進んだ時期の空欄を埋める組織名を考えます。有力な農民を中心に結成され、「寄り合い」と呼ばれる会議を通じて村のルールを定め、共同体としてのまとまりを強めた自治組織の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 五人組                      2. 惣                      3. 株仲間                      4. 座
- 問13 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、幕府が朝廷の監視と西国の統轄を強化するために京都に設置した役職と、その後の政治の動きとして適切な組み合わせを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 守護・地頭の設置と、源頼朝が全国に支配を広げるために行った平氏の追討                      2. 問注所の設置と、北条時宗がモンゴルの襲来に備えて行った異国警固番役の強化                      3. 六波羅探題の設置と、鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が行った建武の新政                      4. 評定衆の設置と、足利尊氏が光明天皇を擁立して始めた北朝の政治